

# 岡山県立笠岡商業高校

## 笠岡商業探究班

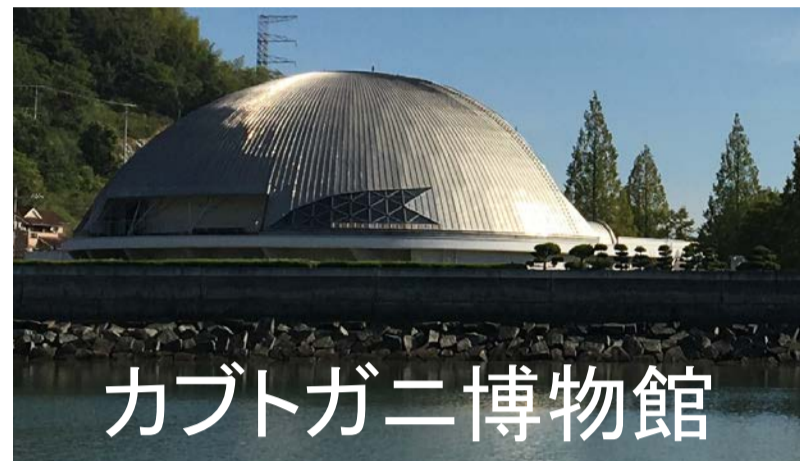
高校生ボランティア・アワード  
2020

### 生きている化石 カブトガニ

～私たちが守る地元の宝～

岡山県笠岡市は日本で最初に国の天然記念物“カブトガニ繁殖地”に指定された。2015年までは国内唯一の指定だった。市民も保護活動に熱心である。

笠岡市には世界で唯一のカブトガニをテーマとした博物館があり、世界最高峰の飼育技術を有する。毎年、幼生放流や海岸清掃などのカブトガニの生育環境を守る活動が市民協働で行われている。しかし、残念ながら笠岡湾干拓の影響もあり生息状況は絶滅寸前である。



カブトガニ博物館



### カブトガニの絶滅 防ぐんじゃけえのお!!!

世界唯一のカブトガニ博物館で育った幼生の放流に参加した。国の天然記念物に指定された区域で放流。

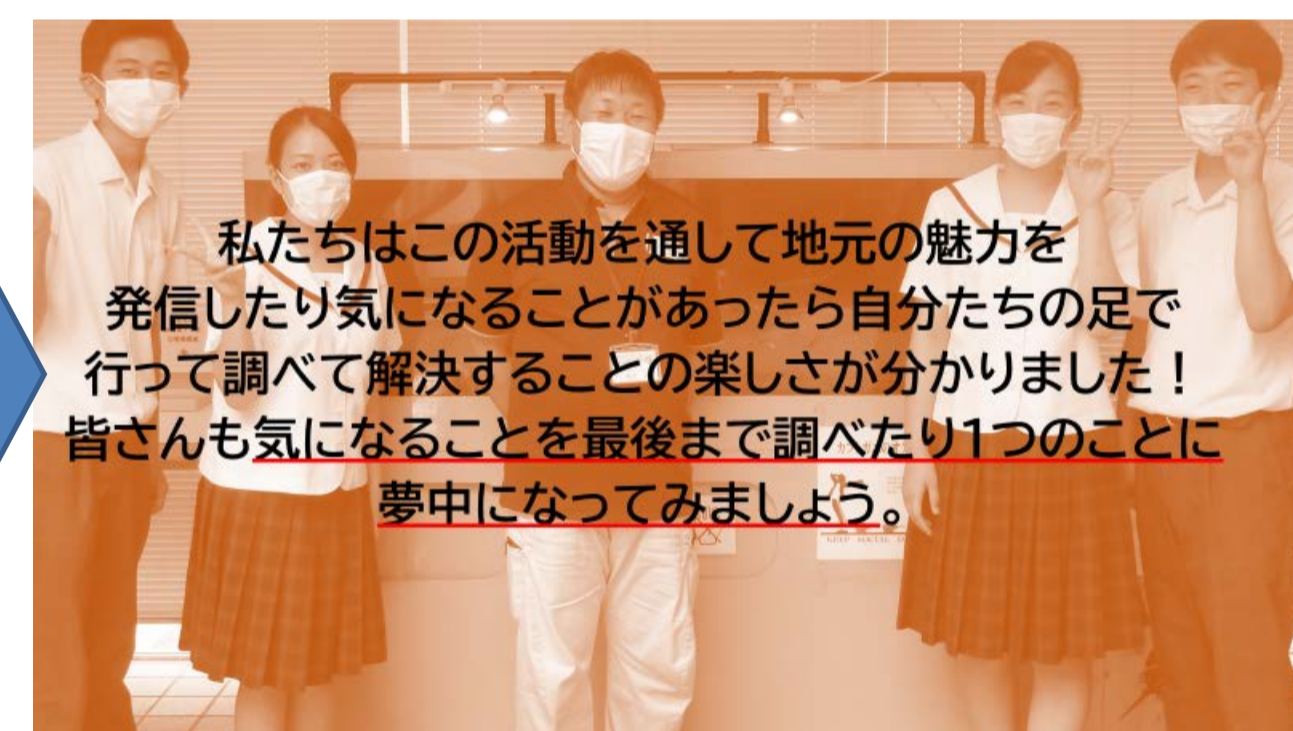
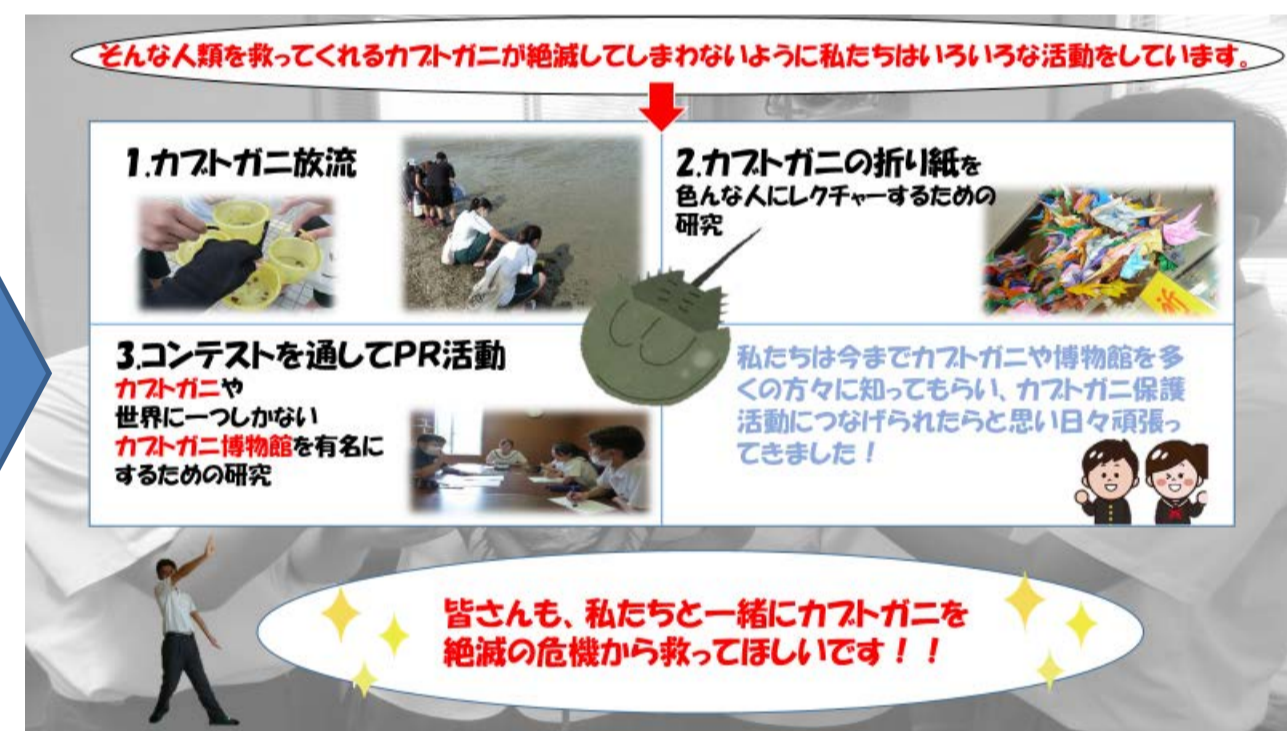
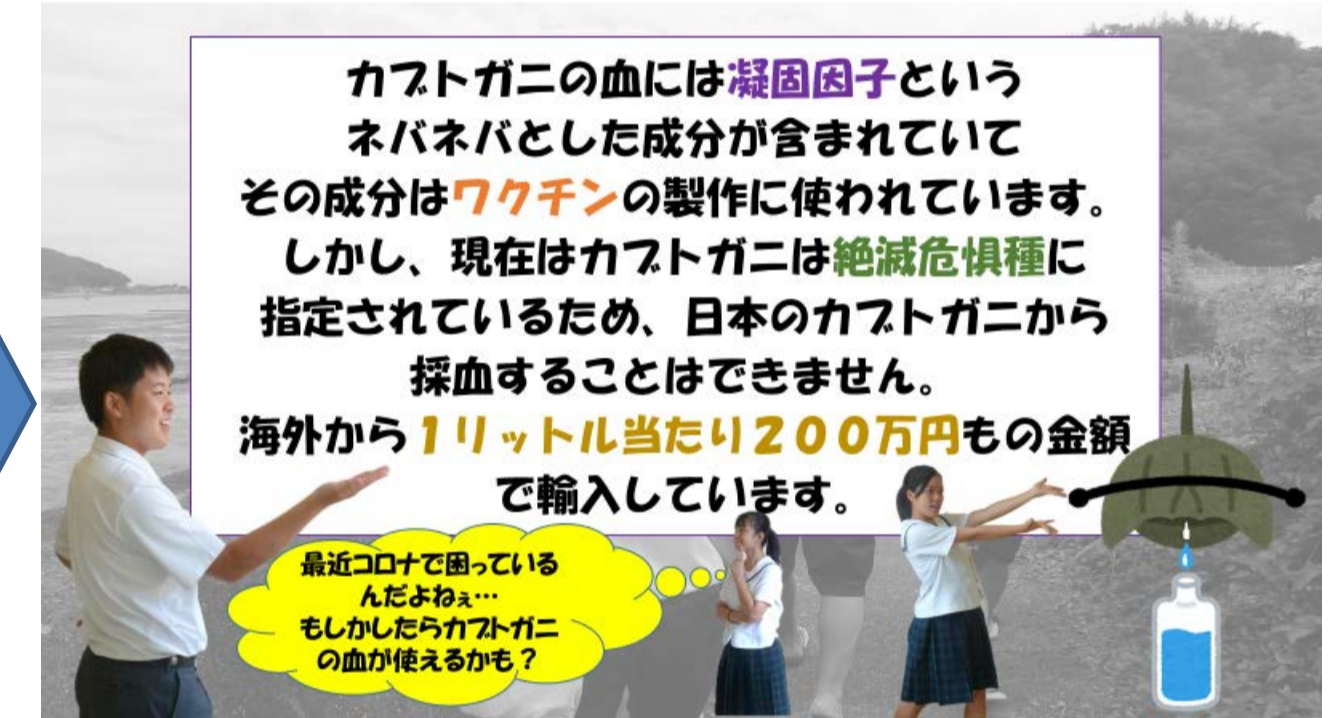
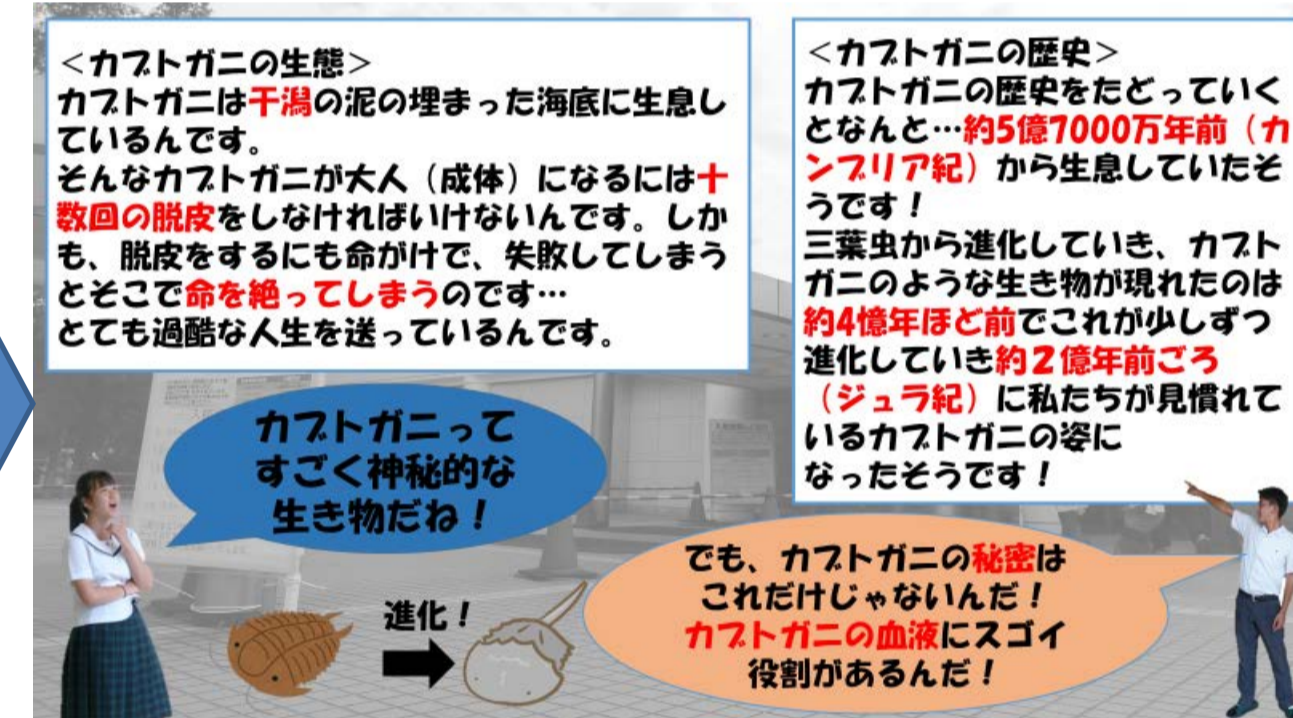
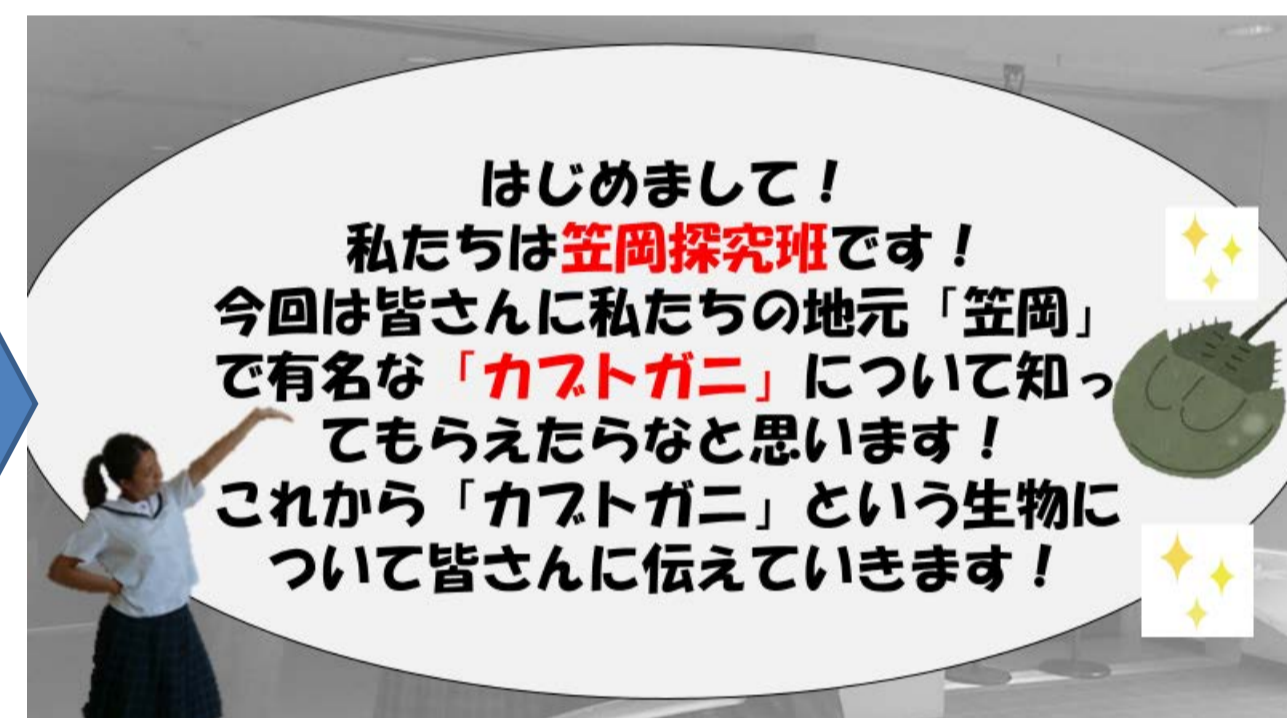


生息区域

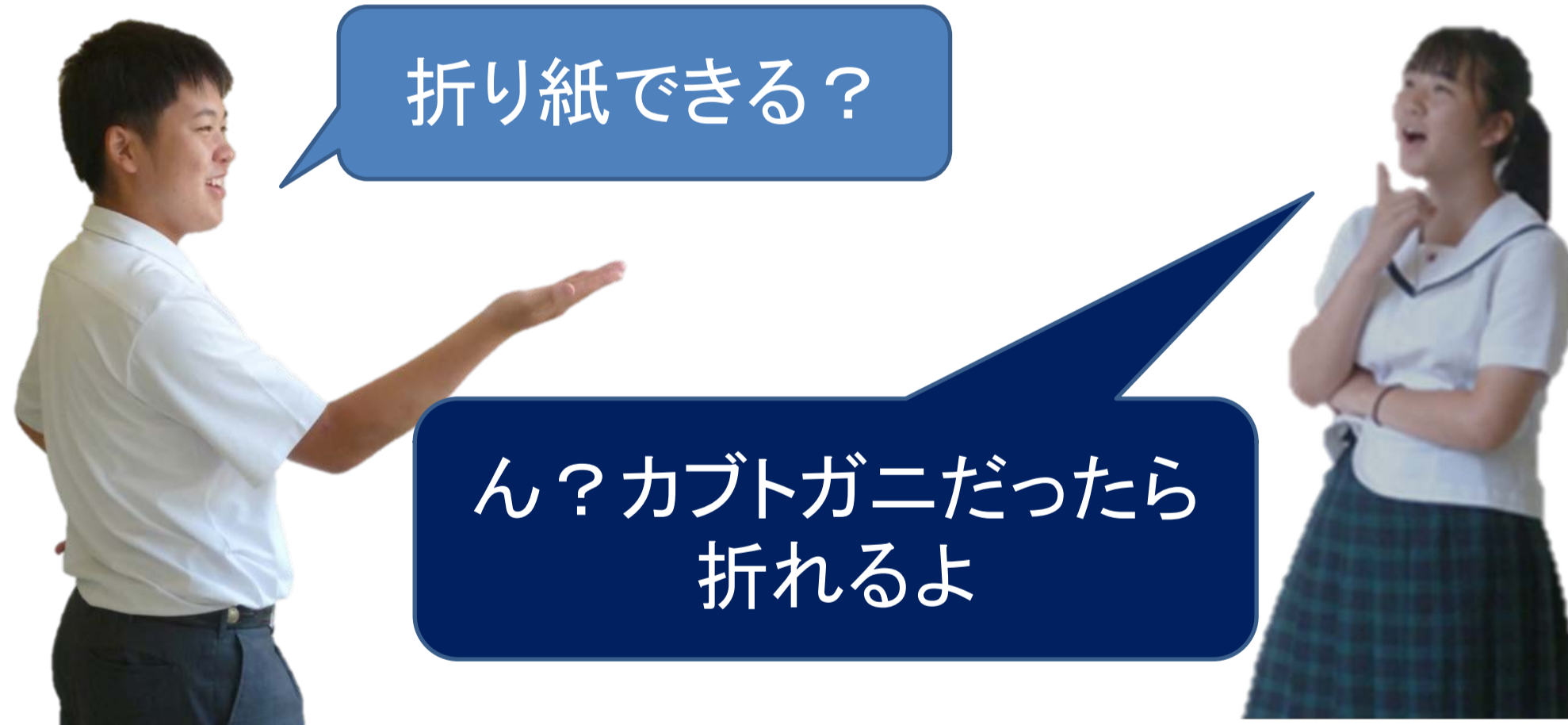
COVID-19などのワクチン開発に不可欠。気になる人は下の紙芝居を読んでね

### 1.紙芝居

### 「カブトガニをもっと知ってもらおう！」



### 2.折り紙



カブトガニ博物館の館長直伝のカブトガニ折り紙。私たちメンバーは校内で「折り紙教室」絶賛開催中!

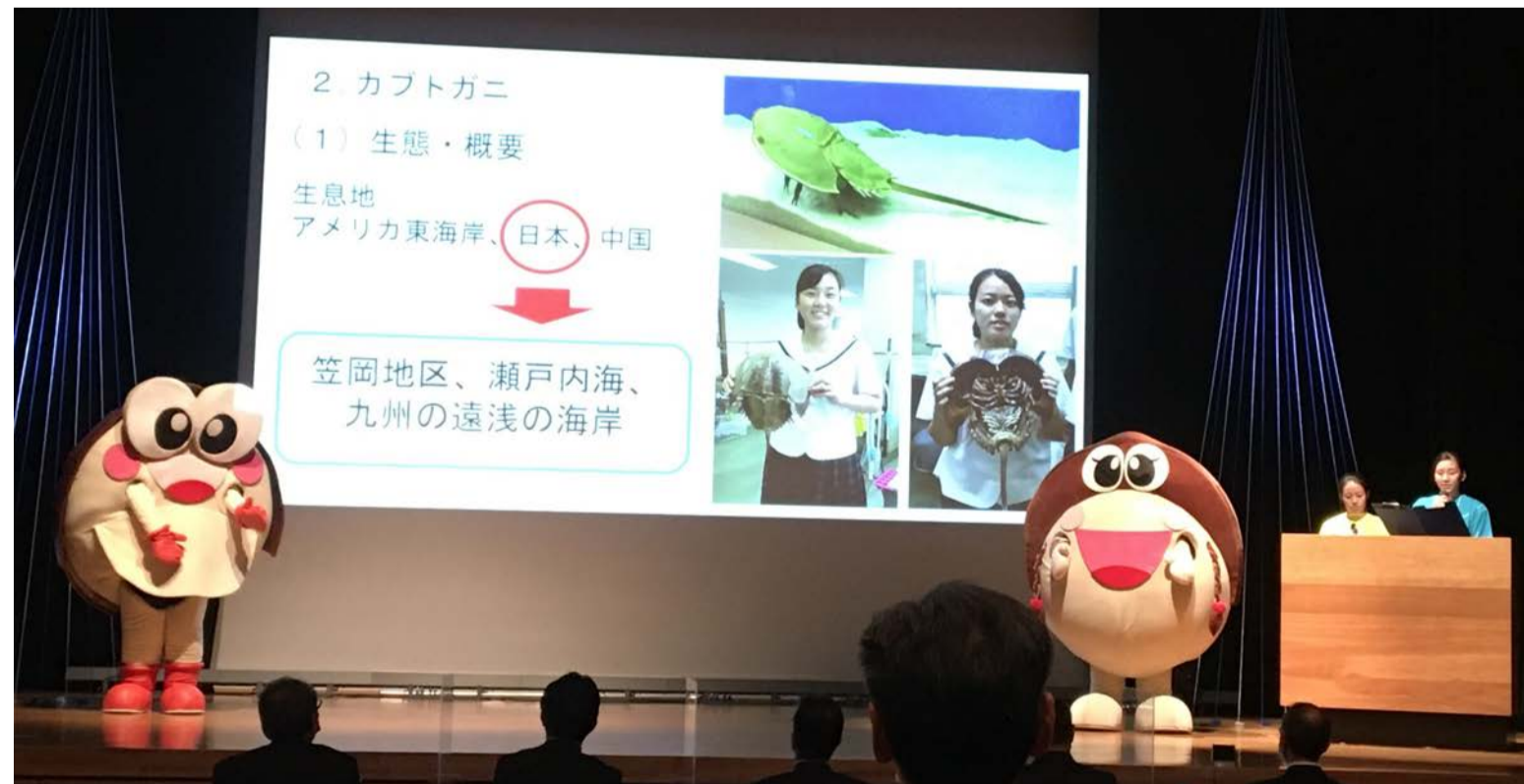
千羽鶴? いえ、千匹カブトガニ

カブトガニのことを知ってもらい保護意識を高めてもらう。今後この活動を我が校だけではなく笠岡地区の幼稚園、小中学校などで、できるだけこの活動の規模を広げ多くの人にカブトガニのことを知ってもらいたい。

### 3.ステージでPR



カブトガニ博物館の人気キャラ「カブニくん、カブ海ちゃん」になりきって登場



カブトガニの保護につながるビジネスプラン、地域活性化案でコンテストに応募し、書類審査を経てステージで披露。オンラインコンテストにも参加。

### カブトガニの住む美しい瀬戸内の海を!



カブトガニの生息域は人間活動(埋め立て、生活排水...)により、世界的に狭まっている。

カブトガニ個体数の増加につなげるには、従来の保護活動に加えて、自然環境を積極的に改善して『自然の育む力』が大きくなるようにする必要があります。

#### カブトガニの生息条件

- ①内湾性であること。カブトガニは本来浅海に生息する
- ②干潮時に広大な干潟ができ、それに隣接した砂浜があること。
- ③生息地の近辺に河川がある。カブトガニは汽水域(海水と淡水が混ざり、塩分が少ない水域)を好む。
- ④干潟に生息する生物が豊富なこと。カブトガニの餌となる二枚貝やゴカイなどの環形動物が繁殖し、アマモのような海藻類が繁茂していれば酸素に富んだ最良の生息地。

コロナ禍の影響で今年度は開催できなかった「カブトガニ博物館の敷地のログハウスで小学生向けの折り紙教室」を開催したい。カブトガニに少しでも興味を持ってもらい、環境保護に協力してもらえる土壌形成に励みたい。私たち自身も積極的に海岸清掃やカブトガニの幼生放流に参加していこう!



笠岡商業高等学校探究班  
2年生メンバーは、高見弥央 田中菜々美 横山悠大 畝川凌一の4人で活動しています。カブトガニの絶滅を防ぐために岡山イノベーションコンテスト、山陽学園大学地域マネジメントコンテスト、海の宝アカデミックコンテストでみんなが知らないカブトガニの素晴らしい魅力について発表しました。